

# 市内の放射線量測定結果(第四報)

環境保全課 224-5894

11月14日～12月7日に実施した、市立中学校・市立特別支援学校・市立川越高校と、大規模都市公園の放射線量の測定について、その結果と、対応後の測定値を報告します。詳細な情報は、市ホームページで確認できます。

測定機器…環境放射線モニターPA-1000 Radi(シンチレーション式)

## ①市立中学校・市立特別支援学校・市立川越高校の測定結果の概要 (単位: $\mu\text{Sv/h}$ )

施設名	測定地点数	地上5cm (目安=0.30)		地上50cm (目安=0.25)	
		平均値	測定値	平均値	測定値
川越第一中学校 (対応後)	54	0.22	0.04~ <b>1.03</b>	0.11	0.04~ <b>0.28</b>
初雁中学校 (対応後)	82	0.11	0.05~ <b>0.45</b>	0.09	0.05~ <b>0.31</b>
富士見中学校 (対応後)	56	0.15	0.06~ <b>0.78</b>	0.09	0.06~0.25
野田中学校 (対応後)	36	0.13	0.06~ <b>0.39</b>	0.09	0.06~0.16
城南中学校 (対応後)	34	0.25	0.06~ <b>1.14</b>	0.12	0.06~ <b>0.27</b>
芳野中学校 (対応後)	39	0.17	0.07~ <b>0.69</b>	0.09	0.07~0.20
東中学校 (対応後)	62	0.19	0.06~ <b>0.94</b>	0.10	0.06~ <b>0.27</b>
南古谷中学校 (対応後)	64	0.13	0.06~ <b>0.40</b>	0.09	0.06~0.16
高階中学校 (対応後)	81	0.18	0.06~ <b>1.05</b>	0.09	0.05~0.22
高階西中学校 (対応後)	128	0.14	0.05~ <b>0.37</b>	0.09	0.05~0.14
寺尾中学校 (対応後)	38	0.20	0.07~ <b>1.08</b>	0.10	0.07~0.22
砂中学校 (対応後)	73	0.13	0.05~ <b>0.83</b>	0.09	0.06~ <b>0.32</b>
福原中学校 (対応後)	47	0.13	0.06~ <b>0.40</b>	0.09	0.05~0.13
大東中学校 (対応後)	72	0.16	0.06~ <b>0.90</b>	0.09	0.06~0.14
大東西中学校 (対応後)	74	0.15	0.07~ <b>0.40</b>	0.09	0.06~0.15
霞ヶ関中学校 (対応後)	84	0.14	0.05~ <b>0.50</b>	0.08	0.05~0.22
霞ヶ関東中学校 (対応後)	50	0.13	0.06~ <b>0.52</b>	0.09	0.06~ <b>0.33</b>
霞ヶ関西中学校 (対応後)	36	0.14	0.06~ <b>0.47</b>	0.09	0.06~0.15
川越西中学校 (対応後)	39	0.21	0.07~ <b>1.08</b>	0.12	0.07~ <b>0.63</b>
名細中学校 (対応後)	49	0.13	0.05~ <b>0.74</b>	0.10	0.06~0.21
鯨井中学校 (対応後)	50	0.18	0.06~ <b>0.69</b>	0.09	0.06~0.23
山田中学校 (対応後)	72	0.17	0.06~ <b>1.35</b>	0.10	0.06~0.20
市立特別支援学校 (対応後)	44	0.11	0.06~ <b>0.33</b>	0.08	0.06~0.11
市立川越高校 (対応後)	51	0.24	0.06~ <b>1.07</b>	0.10	0.06~0.22

\*雨水排水の方法に応じて測定地点を追加しているため、測定地点数には差があります。

- 放射性物質  
放射線を出す能力を持つ物質のこと。放射性物質は放射線を出すことで変化し、やがて安定した(放射線を出さない)物質になる。
- 放射線  
放射性物質から放出されるエネルギーのこと。実態は波長の短い光や原子より小さな粒子。ガンマ線・アルファ線・ベータ線・エックス線・中性子線などの種類がある。
- 放射能  
放射性物質が持つ、放射線を出す能力のこと。
- 半減期  
放射性物質が出す放射線の強さが、半分に減少するまでにかかる時間。

## ②大規模都市公園の測定結果の概要

(単位:  $\mu\text{Sv/h}$ )

施設名	測定地点数	地上5cm (目安=0.30)		地上50cm (目安=0.25)	
		平均値	測定値	平均値	測定値
笠幡公園	30	0.09	0.05~0.17	0.08	0.05~0.12
芳野台南公園	20	0.13	0.09~0.23	0.10	0.08~0.11
岸町健康ふれあい広場	32	0.09	0.06~0.16	0.08	0.06~0.10
高階南公共広場	15	0.11	0.06~0.19	0.10	0.06~0.14
かほく運動公園	24	0.09	0.06~0.15	0.09	0.07~0.11
御伊勢塚公園	63	0.11	0.06~0.30	0.09	0.07~0.14
(対応後)		0.11	0.06~0.20	0.09	0.07~0.14
初雁公園	123	0.10	0.05~0.45	0.08	0.05~0.15
(対応後)		0.10	0.05~0.25	0.08	0.05~0.14
川越運動公園	72	0.14	0.06~0.55	0.09	0.06~0.13
(対応後)		0.12	0.06~0.24	0.09	0.06~0.13
仙波河岸史跡公園	24	0.08	0.06~0.12	0.07	0.05~0.09
河越館跡史跡公園	19	0.10	0.07~0.18	0.09	0.07~0.10
川越城中ノ門堀跡	7	0.10	0.08~0.13	0.09	0.08~0.11
竹野緑地	20	0.10	0.07~0.22	0.08	0.07~0.10
クリアパーク	21	0.11	0.07~0.31	0.09	0.07~0.11
(対応後)		0.10	0.07~0.15	0.09	0.07~0.11
安比奈親水公園	57	0.10	0.06~0.30	0.09	0.06~0.15
(対応後)		0.10	0.06~0.23	0.08	0.06~0.15

●大規模都市公園の結果と対応  
 十四施設(五百二十七地点)について、これまでの調査で比較的高い数値が出た雨どいの下などを詳細に測定しました。  
 地上5cmでは、暫定目安0・25 $\mu\text{Sv/h}$ を超えた地点はありませんでした。  
 地上50cmでは、暫定目安0・30 $\mu\text{Sv/h}$ を超えた地点が、三施設(八地点)ありました。地上50cmでは暫定目安0・25 $\mu\text{Sv/h}$ を超えた地点はありませんでした。  
 暫定目安以下で近い数値の地点も含め、泥やアスファルトの除去を行い、放射線量は暫定目安以下の状態になりました。暫定目安を超えた地点など、対応を実施したのは合計十四地点で、すべて園内施設の雨どいの下でした。  
 これ、報告済みの二施設を含め、予定していた大規模公園十六施設(六百十七地点)の測定および対応が終了しました。

## ●市立中学校などの結果と対応

市立中学校二十二校(千三百二十地点)、市立特別支援学校四十四地点、市立川越高校五十一地点の合計二十四校(千四百十五地点)について、これまでの調査で比較的高い数値が出た雨どいの下などを詳細に測

定しました。  
 地上5cmでは、市が定めた暫定的な対応の目安(以下「暫定目安」)0・30 $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)を超えた地点が全二十四校(百三十八地点)でありました。地上50cmでは、暫定目安0・25 $\mu\text{Sv/h}$

hを超えた地点が七校(十地点)ありました。  
 暫定目安以下で近い数値の地点も含め、泥やアスファルトの除去を行い、放射線量は暫定目安以下の状態になりました。暫定目安を超えた地点などは、雨どいの下が百十九地点

(86%)、側溝および側溝ますが三地点(2%)、側溝を清掃した後の泥を置いた場所などが十六地点(12%)でした。  
 これ、前回報告した小学校を含めた全市立学校の測定および対応が終了しました。

## ■川越市の市域全体では問題ない状況です

市ではまず、市域を5km四方に区切り、各2地点の大気中放射線量と土壌中放射性物質量の測定を行いました。放射線量は0.05~0.10 $\mu\text{Sv/h}$ 、放射性物質量(セシウム)は30.2~128.4Bq/kg(ベクレル毎キログラム)で、市域全体として問題ないと判断しました。国の航空機モニタリングでも、問題のない数値でした。

## ■詳細測定で目安を超えたのは、あまり人が近づかない場所です

その後、市民の皆さんの安全・安心を確保する観点から、全市立学校・保育園などと道路側溝を詳細に測定しました。測定した4,163地点の中には高い測定値もありましたが、雨どいの下や排水ますの中など、人があまり近づかない場所です。

## ■今は雨が降っても放射性物質は含まれていません

県では、落ちてきた雨やちりに含まれる放射性物質の量を毎日測定し公表しています。放射性セシウムの数値は、3月下旬の雨により上昇し、その後も微量が検出される日がありました。しかし、8月以降は雨が降っても検出されていません。

## ■放射線量は、10年後に現在の約24%

放射性物質の半減期は、セシウム137が約30年、セシウム134が約2年。すぐにはなくなりません。これらの放射性物質から放出される放射線量は、10年後に現在の約24%になるという国の試算があります。